

# 令和4年度久留米市障害者地域生活支援協議会

## 第3回全体会 議事録

次 第	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 説明事項</b></p> <p>(1) 久留米市障害者(児)生活実態調査について</p> <p><b>3 協議事項</b></p> <p>(1) 調査票の検討について</p> <p>その他</p>
開催日時	令和4年11月8日(火) 18:30~20:10
開催場所	ZoomによるWeb会議
出席者 (敬称略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米市身体障害者福祉協会</li> <li>・久留米市精神障害者地域家族会</li> <li>・久留米市社会福祉協議会</li> <li>・久留米市介護児福祉サービス事業者協議会</li> <li>・久留米市障害者基幹相談支援センター</li> <li>・久留米商工会議所</li> <li>・弁護士会 筑後支部</li> <li>・久留米市民生委員児童委員協議会</li> <li>・久留米市手をつなぐ育成会</li> <li>・久留米市作業所連絡会</li> <li>・久留米医師会</li> <li>・久留米市障害者支援施設協議会</li> <li>・久留米市私立幼稚園協会</li> <li>・久留米公共職業安定所</li> <li>・久留米大学</li> <li>・久留米市校区社会福祉連合会</li> </ul>
欠席者 (敬称略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米市立久留米特別支援学校</li> <li>・久留米市保育教会</li> <li>・久留米児童相談所</li> <li>・久留米市校区まちづくり連絡協議会</li> </ul>
内 容	<p><b>1. 開会</b></p> <p>20名中、16名参加のため会議成立</p> <p>&lt;会長&gt;</p> <p>傍聴希望者の確認</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>傍聴希望者はなし</p> <p><b>2. 説明事項</b></p> <p>(1) 久留米市障害者(児)生活実態調査について</p> <p>&lt;事務局&gt;別紙1を用いて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の目的、調査結果を活用する計画の説明、計画期間を説明</li> <li>・調査の方法、実施時期を説明</li> <li>・調査の対象者の説明</li> <li>・調査票の基本的考え方、種類の説明</li> <li>・スケジュールを説明</li> </ul> <p><b>【質問・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>

### 3. 協議事項

(1) 調査票の検討について

<事務局>別紙2を用いて説明

- ・調査票A、B、Cの調査項目について、項目設定の目的や意図を説明。

<会長>

- ・性別を問うことは最近行っていないのではないかと。男性、女性、その他としていると思う。

<事務局>

- ・性別については担当課に確認をし、目的があつて設問として問うことは問題ないという意見をj得ている。選択肢として、1男性、2女性、3自由記載欄としている。答えたくない方は3を選択できるように対応している。

<会長>

- ・自由記載でよいのか。その他としたほうがいいのではないかと。

<事務局>

- ・再度、男女平等の所管課と検討し、確定させたいと思う。

<委員>

- ・なぜその場所を選んだのか等、前回より具体的な設問となっている。前回よりとても良くなったと思う。

<委員>

- ・我々は障害ある方に対し繋がりやのきつかけがないので、調査結果をまちづくりの参考にしたい。

<会長>

- ・調査票B問32、34について。災害時において、医療依存度が高い人や医療ケアの方は「その他」で回答するだろうか。これから地域包括ケアシステムが進む中、このような設問でいいのか。

<事務局>

- ・災害時において、医療依存度の高い方からの心配の声が大きいのは停電のこと。

<委員>

- ・医療的ケアの方の場合、家庭用蓄電池や発電機などの準備が必要と思われる。地域の方がどのように関わっているのか分からないということだったが、先日町内会に参加し、飲み会をするからもう少し居てほしいと言われた。コミュニケーションが大事だと思う。

<会長>

- ・問32、34はこのままでいいのか。

<委員>

- ・このままでいい。障害者の方から地域に参加する。お互いに顔を知らないとな何も生まれない気がする。

<会長>

- ・調査票B6頁の地域での生活については、この記載内容で伝わるか。
- ・問22は障害のある方への地域からの自発的な声かけを問うている。内容はこれでいいでしょうか。

<委員>

- ・いない人もいるだろう。閉鎖的になっている方もいるし、近所付き合いがない人もいる。ただ、声掛けをすることは大事だと思う。

<委員>

- ・調査票C問4では、教育と保育のことを一緒に問うような設問がある。幼稚園と保育園など就学前の方に関しては、相談窓口があることを知らない。就園するときに相談することもあるので、保育園や幼稚園を入れるべき。何も知らない方は様々なところに相談される。

<会長>

- ・調査票C問4の17は、親の会とイメージできるか。

<委員>

- ・誰に渡ると分らないが、患者会・当事者団体よりも親の会の方がしっくりくる。

<会長>

- ・17には親の会を追記する。

<委員>

- ・就園前の保護者に配布するのであれば、問4には保育園・幼稚園の先生が必要。問5にも入園相談を入れるべき。

<事務局>

- ・問5の2相談会が分かりにくいので、入園や就学などをカッコ書きで追記するようになりたい。

<会長>

- ・入園、就学は分けるべきか。

<委員>

- ・就学前相談会はあるが、入園前にはそのような会はなく電話をかけるしかない。よって、入園や就学の節目の時に相談したことが分かればいい。

<委員>

- ・対象者を確認したいが入院中の方は入らないのか。

<事務局>

- ・無作為抽出なので入院している方が対象になることも考えられる。

<委員>

- ・入院中の場合、調査票B問32では、災害時には病院スタッフなどを回答すると思う。

<事務局>

- ・調査票Bは難病の医療証を持った方のみ。Aには入院中の方も含まれる。問41には医療スタッフとして記載している。

<委員>

- ・入院中の方は家に送られるので手帳所持者に届かない可能性はある。長期入院中の方は特にそうだと思う。

<事務局>

- ・手帳所持者の現住所に送付する。

<会長>

- ・アンケート調査の送付を基幹から案内してもらったらどうか。

<事務局>

- ・基幹にも連絡するし、市のホームページでも公表する。

<委員>

- ・地域の中で孤立している方。それは、地域の中に相談できる人や居場所がない方。相談できる人や居場所がどれほどあるのかということが見えたらいいい。相談できる人や居場所がないと孤立し、さらに悪化する人もいる。

<会長>

- ・居場所までは書いてないが、調査票A11 頁から 13 頁で見えてこないだろうか。

<事務局>

- ・クロス集計の結果から導きだせると考えている。また、問 24 でも相談する人がいないという選択肢を設けていることから、孤立している方を出せると思う。

<会長>

- ・自ら孤立する人もいるのか。

<委員>

- ・安心できないからという理由があるかもしれない。

<会長>

- ・自ら関わりたくないという人はクロス集計で出てくるだろうか。

<委員>

- ・困っていることがないということで出てくると思う。

<委員>

- ・この調査に対して期待している。自分で書けない方はどうされるのかが気になっている。知っている方にはきょうだいで障害があり誰も頼れない。

<事務局>

- ・成年後見制を利用している方は保佐人などが付いている方もいるが、付いていない方は答えられないことは考えられる。ひとりひとりに聞き取りに行くことは難しい。

<委員>

- ・このアンケート結果が地域の中で活かされるように期待している。顔なじみになってはじめて相談ができると思うので、この調査をきっかけに互いに歩み寄れることを期待する。

<委員>

- ・調査票A9 頁に記載されている合理的配慮という言葉は、あまり浸透されていない気

	<p>がする。語句の説明がある言葉はいくつかあるので、合理的配慮についても説明を入れてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 18 頁問 35 成年後見を利用したことがない理由を聞いているのは良いことだと思う。利用したことがある方の意見も聞いた方がいいと思う。</li> </ul> <p>&lt;会長&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問 35 の 1 を回答した方に満足度を確認する設問の追加を検討してほしい。</li> </ul> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者手帳をお持ちの方を対象としているが、対象者は今後広げる予定か。調査対象者を見ると 20%前後、精神障害者だけみると 13%になっている。</li> </ul> <p>&lt;事務：&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神手帳と精神通院の重複者や身体手帳等の重複者がおられ、重複者を除いたところでは 20%前後になっている。</li> </ul> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴力 70db 以下の方は手帳を取得されているが、少し上の方は手帳を取得されていない。数字で決められているが、困り方は変わらない。手帳を取得できない方の生活が少しでも生活しやすいようにならないかと考えている。</li> </ul> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集計の方法について母数が限られているので有意差が出るか分からないが、生活圏域や校区などで分けて出すことは想定されているか。</li> </ul> <p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年齢、等級、部位などは考えているがエリアまで想定していない。</li> </ul> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域性が障害のある方に影響するかは分からないし、久留米市の中なのでそこまで必要なのか。</li> </ul> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区別になると母数が少なくなりすぎるし、高齢分野と違い障害は異なるということが分かった。</li> </ul> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の中で声を出すことは難しい。どうかして関係づくりをしていきたい。集計の仕方が大変になると思われるので、まちづくりのなかで捉えていきたい。様々な団体の方から知恵をもらいたい。前回の話の中で人間らしくという言葉があった。本日のようなアンケート結果を大事にしていきたい。</li> <li>・ 協議終了</li> </ul> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
	<p>閉会</p>

以上